

第18回事故防止誌上講習



今回は冬場に入っており、雪道の安全運転の心得について記してみたいと思います。

雪道を
侮らないために

- 1・自分の運転技量、車の性能を過信しない!
- 2・先をよむ!
- 3・無理をしない!
- 4・冬用タイヤ、チェーンの準備!

以上の4項目は充分肝に銘じて運転をして下さい。

注 意 点

!バッテリーは必ず出発前にチェックする。
"不凍性軽油（零下10℃以下では普通の軽油は凍結するおそれがあり、寒冷地に入ったらディーゼル車は不凍液を補給する。）
#燃料は満タンにしておく。（燃料の消費が早い）
\$ワイパーブレード（キズや割れ目がないか、できれば冬用ブレードがよい）
%必ずシートベルトは着用する。
&運転が終われば洗車する。

準備しておくもの

冬用タイヤ・タイヤチェーン・針金（チェーンが切れてしまった時つなぐため）
防水用オーバーズボン・ゴムの軍手・長靴・毛布・タオル類・牽引ロープ
スノーマット・スノースコップ・スノーブラシ・フロントカバー・解氷剤（鍵穴、ワイパー用）・輪止め・ディーゼル車用バッテリーコード・懐中電灯・救急箱

雪道で思わず遭遇すること

!一瞬見えなくなるブラックホール・ホワイトアウト現象（サングラスを用意）・
"わだちはハンドルをとられるおそれが充分ある・#アイスパーンはスケートリンクと同じ・\$シャーベット状態は急に滑り出すので要注意・%地吹雪で前が見えなくなる・&雪はねで目の前が真っ白になる・'ワイパーが浮き上がって効き目がない・（ヘッドライトやテールランプに雪が付着・）タイヤハウスに雪が付着する・*除雪作業中は作業車に追従し、低速走行を心掛ける

以上、雪道の安全対策をインターネットより抽出しました。